盛岡市プレスリリース

～歴史風土に包まれた　心豊かに芸術文化が生きるまち～

令和7年8月15日

交流推進部文化国際課

市政記者クラブ加盟社　各位

「姫神ホール開館 30 周年記念『芸能の祭典 姫神寄席』」を開催します

公益財団法人盛岡市文化振興事業団と盛岡市は、「姫神ホール開館 30 周年記念『芸能の祭典 姫神寄席』」を開催します。

記

【日時】 令和 7 年 11 月 15 日(土) 14 時 00 分から 16 時 30 分まで

【場所】 姫神ホール（盛岡市渋民字鶴塚 55 番地）

【内容】 落語、講談、浪曲、曲芸

【事業の経緯・説明】 盛岡市渋民文化会館姫神ホールの主催事業として長年継続してきた落語会「姫神寄席」。開館 30 周年を記念した芸能の祭典として、人間国宝 2 人の落語と講談、人気演者による浪曲、曲芸など、盛りだくさんの特別公演をお送りします。

【チケットの一般発売】 8月 28 日(木)9 時よりチケット発売

【対象】 市民等

【出演】 落語／五街道雲助(人間国宝)、講談／神田松鯉(人間国宝)、
浪曲／玉川奈々福、太神楽曲芸／鏡味味千代　ほか

【定員】 603 席(車椅子席込)

【チケット料金】 全席指定　4,000 円、U-25 チケット 2,000 円（当日各 500 円増）

【主催】 公益財団法人盛岡市文化振興事業団

【共催】 盛岡市、岩手日報社

【添付資料】 チラシ資料

【宣材写真の提供】 事前周知等でお取り上げいただける場合、出演者の写真等をご提供できます。

【問い合わせ】

公益財団法人盛岡市文化振興事業団　企画事業部　及川(おいかわ)

TEL:019-621-5151　FAX:019-621-5101

【担当】
盛岡市　交流推進部　文化国際課　芸術文化係
担当:金野(きんの)
TEL:019-613-8465(直通)
E-mail:bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp

令和7年度姫神ホール芸術鑑賞事業

五街道雲助

人間国宝

神田松鯉

人間国宝

姫神ホール開館30周年記念

芸能の祭典

姫神寄席

玉川奈々福

鏡味味千代

盛岡市渋民文化会館姫神ホールの主催事業として長年継続してきた落語会「姫神寄席」。開館30周年を記念した芸能の祭典として、人間国宝2人の落語と講談、人気演者による浪曲、曲芸など、盛りだくさんの特別公演をお送りします。

出演◆落語／五街道雲助　講談／神田松鯉
浪曲／玉川奈々福　太神楽曲芸／鏡味味千代　ほか

令和7年11月15日(土) 午後2時開演（午後1時30分開場）

盛岡市渋民文化会館 **姫神ホール**（盛岡市渋民字鶴塚55）https://www.mfca.jp/himekami/

全席指定

［前売料金］一般4,000円 U-25チケット2,000円（当日各500円増） **8月28日(木)発売**

［m-Friends料金］一般3,600円（前売のみ／スタンダード会員2枚まで、ライト会員1枚まで／U-25チケットは対象外）

●U-25チケットは25歳以下の方が対象です。購入時及び公演当日、年齢のわかる身分証をご持参ください。なお、U-25チケットを対象者以外の方が当日に利用された場合は、一般前売料金との差額を頂戴いたします。●m-Friendsチケット及びU-25チケットは姫神ホール、盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、盛岡市文化振興事業団インターネット・チケットサービスでのお取り扱いとなります。●車イス席のチケットは、姫神ホールのみでのお取り扱いとなります。（全3席、m-Friends割引対象）●未就学児は入場できません。

●主催：盛岡市文化振興事業団　●共催：盛岡市、岩手日報社　●後援：テレビ岩手

プレイガイド　パルクアベニュー・カワトク、江釣子SCパル、姫神ホール、盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、盛岡市文化振興事業団インターネット・チケットサービス

●お問い合わせ 姫神ホール Tel.019-683-3526

盛岡市文化振興事業団
インターネットチケットサービス
（登録無料）https://p-ticket.jp/mfca

スマホで登録する方はこちらから

姫神ホール開館30周年記念

芸能の祭典 姫神寄席

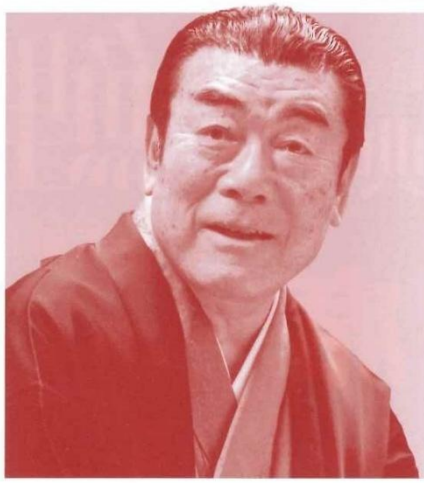
番組

開口一番　桃月庵ぼんぼり
落　　語　雷門音助
太神楽曲芸　鏡味味千代
講　　談　神田松鯉

仲入り
浪　　曲　玉川奈々福　曲師 広沢美舟
落　　語　五街道雲助

五街道雲助（ごかいどうくもすけ） 人間国宝

本　　名◆若林恒夫（わかばやしつねお）
生年月日◆1948（昭和23）年3月2日
出 身 地◆東京都本所
経　　歴◆1968（昭和43）年 2月　十代目金原亭馬生に入門　前座名「駒七」
1972（昭和47）年11月　二ツ目昇進　「五街道雲助」と改名
1981（昭和56）年　真打昇進
受 賞 歴◆2014（平成26）年　平成25年度（第64回）芸術選奨　文部科学大臣賞受賞（大衆芸能部門）
2016（平成28）年　紫綬褒章受章
2023（令和５）年　重要無形文化財保持者（人間国宝）認定
2024（令和６）年　第41回浅草芸能大賞 大賞
2025（令和７）年　旭日小綬章 受章　ほか
出囃子＝箱根八里　紋＝剣かたばみ、裏梅



神田松鯉（かんだしょうり） 人間国宝

本　　名◆渡邊孝夫（わたなべたかお）
生年月日◆1942（昭和17）年9月28日
出 身 地◆群馬県前橋市
経　　歴◆1961（昭和36）年　芸界入り。新劇・松竹歌舞伎等の俳優として活動
1970（昭和45）年　講談師 二代目神田山陽に入門。前座名「陽之介」
1973（昭和48）年　二ツ目に昇進。神田小山陽と改名
1977（昭和52）年　真打に昇進
1992（平成４）年　三代目「神田松鯉」を襲名
受 賞 歴◆1978（昭和53）年　第1回講談奨励賞
1978（昭和53）年　第6回放送演芸大賞ホープ賞
1989（昭和64）年　第43回文化庁芸術祭賞
2019（令和元）年　重要無形文化財保持者（人間国宝）認定
2020（令和２）年　板橋区民栄誉賞
2021（令和３）年　旭日小綬章
2021（令和３）年　第38回浅草芸能大賞 大賞
2022（令和４）年　前橋市功労者表彰　ほか
出囃子＝のっと

玉川奈々福（たまがわななふく）

本　　名◆長嶋美保子
出 身 地◆神奈川県横浜市
経　　歴◆1994（平成６）年　日本浪曲協会主催の三味線教室に参加
1995（平成７）年　二代目玉川福太郎に曲師として入門「美穂子」
2001（平成13）年　浪曲師として初舞台
2006（平成18）年　芸名を美穂子から奈々福に改め名披露目
受 賞 歴◆2019（令和元）年　第11回伊丹十三賞

2004（平成16）年「玉川福太郎の徹底天保水滸伝」全5回、2005（平成17）年「玉川福太郎の浪曲英雄列伝」全5回をプロデュース、全10回公演がすべて大入り満席となる。さまざまな浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作浪曲や、長編浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。平成30年度文化庁文化交流使として、イタリア、スロベニア、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、キルギス、ウズベキスタンの七か国で公演。中国、韓国でも公演。

鏡味味千代（かがみみちよ）

本　　名◆高橋麻帆
出 身 地◆山梨県山中湖村出身
経　　歴◆2000（平成12）年3月国際基督教大学卒業後、2007（平成19）年3月まで広報代理店にて会社勤務。その後めでたくOLを卒業し、2007（平成19）年4月国立劇場、第5期太神楽研修生となる。研修時代には太神楽の技能だけではなく、獅子舞に必要な鳴り物（笛、太鼓）、三味線、また日本舞踊なども稽古をつみ、2010（平成22）年3月研修を卒業。得意だったのは笛。今でも寄席で出囃子の笛などを吹いている。同年4月、ボンボンブラザースの鏡味勇二郎に弟子入り。その後1年間、噺家の前座に混ざり落語芸術協会にて前座修行を行う。365日休みなく勤め、お茶くみ、座布団返し、師匠方への着付け等、行儀見習い一般を経験。2011（平成23）年4月浅草演芸ホールにて寄席デビュー。その後、寄席では珍しい語学力を生かし、英語で太神楽を上演したり、年に一度のペースで海外公演に参加したりと、太神楽の可能性を探っている。

第20回玉山地域公民館まつり

開催日：令和7年10月25日（土）・26日（日）　場所：盛岡市渋民公民館（姫神ホール）　入場無料

地域での様々な芸術文化活動や、公民館講座・サークル活動に参加されている皆さんの日ごろの成果を発表します！舞台部門、展示部門、フリーマーケット、体験会など盛りだくさん！さらに、親子で楽しめるイベントや軽食販売、渋民図書館による「本の交換広場」など、気軽にお楽しみいただけます。公民館まつり第20回と開館30周年を記念した特別プログラム「玉山地域神楽の饗宴」「渋民中学校 群読劇『アテルイ』」の上演や、書道教室 啄墨会協力による記念の書の展示も予定しています。